

平成29年度 ひきこもり講演会

「とまった“とき”をうごかすために—関係性の視点から—」

5月13日(土)に、日立システムズホール仙台・交流ホールにて、田中千穂子先生(学習院大学文学部心理学科教授)の講演会を開催しました。ご家族、当事者、支援者など、256名もの方々にご来場いただきました。

講師からは、ひきこもっているとき、ご本人のこのころの中ではどんなことが起きているのかの説明と、ご本人やご家族が変化していく過程などについて事例をまじえながら丁寧にお話いただきました。

ご参加の皆様からは「ひきこもりには本人なりの必然性がある。そのために時を止めているという説明に納得した」「治すのではなく育てる。本人のペースとタイミングを尊重することが大事だし、時間も掛かる」「タイミングを見て時を“動かす”働きかけも必要」「希望が持てる事例を聞いた」などの感想をいただきました。

デイケア祭

日時：平成29年10月27日(金) 10:30 ~ 14:30
場所：仙台市精神保健福祉総合センター

当センター精神科デイケアメンバーによる日ごろの活動の紹介や、パネル展示などをおこないます。はあとぽーと仙台について市民の皆様を知って頂く機会になればと思います。

詳細は決まり次第、市政だより10月号でご案内させていただきます。ぜひお立ち寄りください。



「はあとぽーと仙台」の一時移転について

仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)は、平成29年7月3日(月)から平成30年3月2日(金)まで、改修工事のため一時移転し業務を行います。

(工事の進捗状況により期間が変更となる場合があります)

一時移転先
〒983-0836
宮城野区幸町3丁目12-1(旧東部休日診療所)
TEL 022-265-2191(電話番号は変わりません)

詳しくは、お問い合わせください。



はあとぽーと通信

仙台市精神保健福祉総合センター

URL <http://www.city.sendai.jp/seshin-kanri/kurashi/kenkotofukushi/kenkoiryo/sodan/seshinhoken/heartport/index.html>

発行 2017年9月15日
編集 仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)
仙台市青葉区荒巻字三居沢1-6
電話 022-265-2191
一時移転先：仙台市宮城野区幸町3丁目12-1

目次

- P1 「はあとぽーと仙台ではこんなことをやっています！」
- P2 「こころの悩みについての相談 ご家族のグループ 精神科デイケア」
- P3 「自死対策」「震災後こころのケア」
- P4 「イベント情報」「一時移転のお知らせ」

特集 はあとぽーと仙台ではこんなことをやっています！

仙台市精神保健福祉総合センターとは、昭和58年4月に「仙台市デイケアセンター」として開所し、平成9年4月より「仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)」に改組しました。

こころの悩みを抱えた方や精神障害のある方、ご家族、支援者の方々からのご相談をお受けしているほか、心の健康づくりや精神保健に関する普及啓発など、精神保健福祉に関する様々な事業を行っています。あらためて、はあとぽーと仙台が実施している活動についてご紹介していきます。

こころの悩みについてのご相談

ご自身やご家族のこころの悩みについて、来所相談と電話相談を実施しています。

特に、問題が複雑になりやすいアルコール・薬物、ひきこもり、自死、震災後のこころの問題などについても相談を行っています。

こころの健康に関する知識のお届け

講演会等を開催し、こころの健康に関する知識をわかりやすく皆様にお届けします。

また、広報紙「はあとぽーと通信」やホームページ等に、当センターの活動やこころの健康についての知識を掲載しております。

精神科デイケア

こころの病気の回復促進・再発予防を目的とした外来治療のひとつです。

当センターでは「就労支援・社会参加コース」「リワーク準備コース」の二つのコースがあります。

精神保健福祉に関する法定業務

精神障害者保健福祉手帳の判定業務、自立支援医療(精神通院)の判定業務、仙台市精神医療審査会に関する業務を行っています。

企画立案

こころの健康や精神障害者の福祉に関する専門的な調査・研究を実施し、市民の皆様の健康と福祉の向上に役立てます。

また、専門的立場から、こころの健康に関する施策の提案・企画を行っています。

